



2024年2月5日

各 位

会 社 名 日本電気硝子株式会社  
代 表 者 名 社 長 岸 本 暁  
コ ー ド 番 号 5214 東証プライム  
問 合 せ 先 取締役常務執行役員 森井 守  
TEL 077 (537) 1700

## 新中期経営計画「EGP2028」策定に関するお知らせ

当社は、この度、2024年度から5か年の新中期経営計画「EGP2028」(Electric Glass Prospects 2028)を策定しましたので、以下のとおりお知らせいたします。  
「EGP2028」の取り組みを通して、企業価値の向上とPBRの改善を図ってまいります。

### 1. スローガン

STRONG GROWTH

### 2. 基本方針

既存事業の収益基盤強化と成長分野への積極的なリソース投入を推進し、持続的成長と企業価値向上を実現する。

### 3. 期間

2024年1月1日～2028年12月31日(5か年)

### 4. 経営目標

売上高	4,000億円
	(電子・情報1,900億円、機能材料※1,600億円、新規事業500億円)
営業利益	500億円
営業利益率	12.5%
ROE	8%
目標達成年度	2028年度

※「機能材料・その他」から名称を変更しています。

### 5. 事業戦略

#### ①既存事業の強化(競争力向上による収益基盤強化)

- ・ 高付加価値製品の開発、事業化を強化する。
- ・ 全電気溶解技術を活用し、生産性・品質の向上を図る。
- ・ 強固な事業基盤を構築する(リソースの効率的な運用、DXの活用、調達の見直し、業務/製造プロセス改革等)。
- ・ 事業収益性の分析を徹底し、投資や縮小、撤退を判断する。

## ②戦略事業の拡大（成長分野へのリソース拡充）

- ・ 自社の強みを活かし、成長が期待できる分野へリソースを積極的に投入し戦略事業を拡大する。
- ・ ガラスの付加価値を高めるデバイス事業を拡大する。
- ・ エネルギー、医療、環境、食料分野を中心に、研究開発のリソースを拡充するとともに、大学や研究機関、ベンチャー企業等との連携を積極的に活用する。
- ・ 戦略的投資枠（5年間で500億円）を設定し、M&Aや戦略的提携、事業投資等を積極的に行う。

## ③調達リスクマネジメント

- ・ 経済情勢や物流の混乱等による調達リスクへ対応する（調達先・物流ルートの複数化、取引先との戦略的提携等）。

## 6. 財務戦略

### ①政策保有株式の縮減

事業環境の変化等を考慮し、資本コストを踏まえた定量面と経営戦略等の定性面から保有の適否を検証し一層の縮減を進める。

### ②資産の圧縮

E G P 2 0 2 8 や事業改革等の過程で生じたノンコア資産については、適宜、処分し資産効率の向上を図る。

### ③バランスシートの管理と株主還元の充実

財務の安定性と資本効率性を考慮してバランスシートを管理するとともに、将来の成長に期した内部留保を確保しながら、株主還元の充実を図る。

#### － 自己株式の取得

資本効率向上に向けて、2023年11月から2028年12月末までの間（約5年間）、総額1,000億円の自己株式の取得を計画

#### － 継続的な配当の拡大：目標D O E 3 %

安定配当を基本とし、業績、財務状況、成長投資等を踏まえ配当を拡充

## 7. サステナビリティ戦略

### ①カーボンニュートラルの推進

全電気溶融技術をはじめとする技術開発等を推進し、地球温暖化防止に貢献するとともに、持続的な成長と企業価値の向上を図る。

全プロセスの電化を進める

再生可能エネルギーへの投資と調達

C O<sub>2</sub>フリーエネルギー（水素等）の技術開発

### ②人材戦略

経営の基盤となる人材への投資を拡大するとともに、多様な人材が十分に能力を発揮できる職場環境を確保し、競争力の向上を図る。

高度な知識や技術を持つ人材の採用と育成

多様な人材の登用

多様な人材が働きやすく、働きがいを感じる職場の整備

### ③サプライチェーンマネジメント

サプライチェーン全体で、環境、生物多様性、人権等に関して社会的責任を果たす取り組みを推進し、持続的な成長と企業価値の向上を図る。

以 上